

## 小学校日本語学級における体験を重視した日本語指導の実践報告

### —生活言語・学習言語は体験から自分の言葉に—

柏木 めぐみ(東京都新宿区立大久保小学校)

#### 1. 実践の場の特徴

ニホンゴ国際学級在籍児童32名は自校通級のみで、日本語担当教員3名で指導を行っている。ルーツのある国は10か国(中国・ベトナム・タイ・ミャンマーなど)で、固定時間割の中の「日本語・国語」の時間に毎日指導を行っているのが特徴である。同学年をレベル別に1～3学級に分けて指導している。在籍児童は毎日日本語指導を受けることで、継続的な指導を受けることができている。

#### 2. 実践の目標 実践の背景と目的

##### 2.1 対象児童

実践対象児童は第2学年の4名である。国籍は、中国3名・バングラディシュ1名。日本生まれだが、日本語で言いたいことを上手く表現ができない2名と、来日1年10か月ほどでやっと日常会話ができるようになってきた児童2名である。4人それぞれ日本語習得レベルは違うが、各教科でやりたいことを詳しく表現できないことは共通している。また、生活科でおもちゃ作りの単元を行った担任からも「友達のおもちゃを見て、作りたいものはあるがどうしたらよいか分からず、いらいらして投げ出したり、あきらめたりしていた。」と聞いていた。友達とうまくコミュニケーションがとれず、トラブルになる児童もいる。

##### 2.2 実践の目標

児童の実態から、昨年からの帯学習「ミニミニ体験タイム」に引き続き、おもちゃ作りを通して、詳しい作業や手順を表す言葉を学習する授業を設定しようと考えた。さらに、それを説明書として書いたり、楽しい遊び方を話し合ったり、クラスの仲間に伝わるように説明できるようになると、学級の児童との楽しい交流ができるようになる。また、生活科や図画工作科だけでなく、他教科での学習参加にもつながるのではないかと考えた。

この実践を通して、それぞれが苦手としている「相手の話をよく聞いて受け止め、話し合う」「相手意識をもって、詳しく伝える」体験をすることで大きく成長する機会にしたいと考えた。

#### 3. 具体的な実践の内容とその過程

##### 3.1 2年生国語科単元「手作りおもちゃでいっしょにあそぼう」の実践

児童が興味をもって取り組む生活科(おもちゃ作り)を題材に取り上げ、

1. 自分のおもちゃの作り方について説明の工夫を使って言語化して書く。

【1次 せつめいのくふうを見つけよう「紙コップ花火の作り方」】

【2次 せつめいのくふうを使ってくわしく書こう～おもちゃの作り方～】

2. 自分のおもちゃのおもしろさについて紹介文を書いて伝える。

3. 自分のおもちゃのより楽しい遊び方について相談し、話し合う。

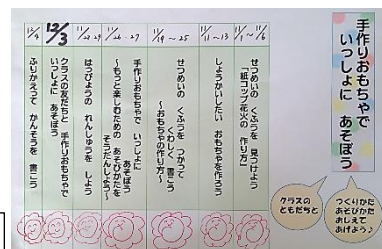
【3次 手作りおもちゃでいっしょにあそぼう

～もっと楽しむための あそびかたをそうだんしよう～】

4. クラスの友だちに、工夫した遊び方を説明し、仲良く遊ぶ。

【4次 手作りおもちゃでいっしょにあそぼう】

という一連の学習を行った。



本単元の学習計画

### 3.2 日本語指導の工夫

#### ① 題材の工夫

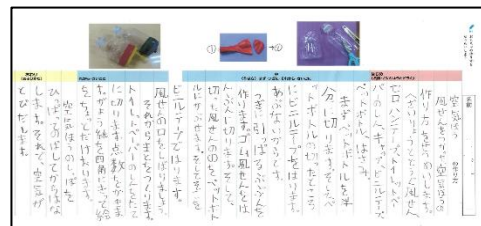
- 使ったものの名前・作業を表す言葉・表現の工夫などを表す言葉は、体験活動の中で身につけやすい。今回は、国語科「おもちゃの作り方をせつめいしよう」での説明文を書いた経験を生かし、おもちゃの作り方や遊び方を発表できるようにした。さらに、より楽しい遊び方を相談し話し合う活動を行い、作る体験や話し合っって工夫する体験を行った。
- 紹介の仕方や説明の仕方、相談と話し合いの仕方が分かることで、今後の学級での言語活動に生かせるようにした。
- 紹介や話し合いの経験を積むことで、教科学習参加への自信につながるようにした。

#### ② 体験を通して、意味を理解しながら自分の言葉として表現させることで定着させる工夫

- 使った道具の名前や作業を表す言葉の意味を理解して、繰り返し使うことで言葉を定着させた。
- 体験を手がかりにして、作り方や遊び方を紹介する表現の仕方を理解して使うようにした。



児童が作ったおもちゃ



おもちゃの説明書

### 4 結果と考察 (目標の達成度・課題)

・「在籍学級の児童を遊ばせてあげたい」という目的意識をもって、意欲的に発表練習をしたり、お互いのおもちゃのより楽しい遊び方を考えて話し合ったりすることができた。今まで友達の話を受容的に聞くことができなかつた児童が、話し合うことの大切さに気づき、協力的な声掛けや手伝う態度をとることができるようになった。在籍学級の友達を招いた本番では、おもちゃの作り方の説明文を発表したり、遊び方を説明したりする中で、児童が張り切って友達と関わる姿・満足そうな姿が見られた。「みんなが楽しそうにしているのを見て、めちゃくちゃうれしかった！」と口々に感想を伝えてくれた。在籍学級の児童から、一言メッセージでたくさんほめてもらい、とてもうれしそうに読みながら興奮していた。自己肯定感につながり、在籍学級の児童との関わり方につながるのではないかと期待している

在籍児童からのメッセージカード



#### 【引用文献】

教材：国語「紙コップ花火の作り方」「おもちゃの作り方を説明しよう」  
 「そだんに のってください」 (光村図書)  
 生活科「うごく うごく わたしのおもちゃ」